

農業用ブルドーザを活用した水稲直播栽培の取組

県央農林総合事務所

金沢市俵集落は中山間地に位置し、高齢化による離農者の増加や若者の流出による後継者不足から、将来の営農継続が不安視されるようになり、地域の農業を守るため平成26年に集落営農組織として農事組合法人俵ファームを設立しました。

法人設立に合わせ、圃場整備を進め農地の大区画化など環境が整備されたことや、今後離農する農家の農地を請け負っていくことも想定されるため、より効率的・省力的な栽培技術を求めています。

そこで当事務所は農業総合研究センターと連携し、高精度な均平施工（生育ムラの減少）と直播作業が可能な農業用ブルドーザを、圃場整備から翌年度の水稲直播栽培まで一貫して活用する営農モデルを俵ファームに提案し、実証を行うこととしました。

この水稲直播は、農業用ブルドーザに専用の播種機を装着し、乾いた水田に溝を切り直接種もみを播く技術で、田植え機で苗を移植するのとは比べ、育苗作業を省略することが可能です。

ただし、田植え機での移植に比べ、栽培期間中は雑草との生育競合が激しくなることから、繁茂する雑草を想定し、先を見越した除草対策スケジュールを立てる必要があります。

そのため、特に生育初期の雑草対策等について当事務所で重点的に指導した結果、労働が集中しがちな田植時期の大幅な省力化が図られ、従来の田植え栽培と同等以上の収量を確保することができました。また、実証した俵ファームから「水稲の育苗作業が省略できるのは非常にありがたい」と高い評価を得ることができました。

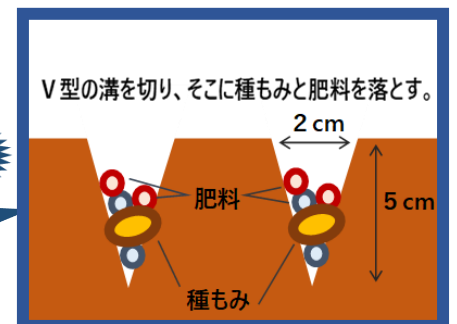
収量を確保しつつ省力化にもつながるこの技術を、圃場整備と合わせて今後規模拡大が見込まれる法人や人手が限られる集落営農組織等における有効な省力化技術のひとつとして、提案していきたいと考えています。



農業用ブルドーザでの播種作業



播種直後の田面



V型の溝のイメージ（断面図）

問い合わせ先：農業振興部（076-239-1751）